
定期考査 B が終わりました

部活はいよいよ夏本番！

4日間続いた定期考査 B が 7 月 10 日、終わりました。

2 学期制の東海大学菅生高校は、学期ごとに中間試験・期末試験を行うのではなく、年間 5 回の定期試験を行っています。そのためそれぞれの定期試験を、「定期考査 A・B・C・D・学年末考査」という呼び方にしているのです。中間・期末試験方式だと、授業時数を確保しやすい反面、定期試験から次の定期試験まで大きく間隔が開いてしまいます。そのため学習意欲に中だるみが生まれたり、生徒の達成度をきめ細かく見ることが難しかったりして、2 学期制には 2 学期制の問題があります。

東海大学菅生高校では、前学期に 2 回、後学期に 3 回定期試験を行うことによって、2 学期制のよいところを活かしつつ、生徒が学習意欲を維持できるようにしています。もし学力に不安のある生徒がいた場合には、自学館のフォローアップ講習で学力の補充を行って、できないままになっていたり、わからないままになっている生徒を放りっぱなしにしないようにしています。年 5 回の定期試験は、きめ細かい学習指導とむすびついた東海大学菅生高校の特色ある試験制度なのです。

定期試験が終わって、放課後のグラウンドや体育館には元気いっぱいの生徒の声が帰ってきました。